

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部長寿介護課		■担当係	高齢福祉係	
■評価事業名称	社会福祉法人利用者負担軽減制度事業補助金				
■事業開始年度	平成12年度				
■評価事業コード	043100 - 046	■会計区分	一般会計		
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり			
	■基本施策	02 高齢者や障がい者などの自立した生活への支援			
	■施策	01 介護予防の推進と介護サービスの充実			
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務				
■法令等の名称	北上市社会福祉法人利用者負担軽減制度事業補助金交付要綱				
■関連計画の名称	第6次北上市高齢者保健福祉計画				
■事業の目的と概要	低所得者の経済的負担が軽減され、介護サービス利用が促進される。所得等の要件により軽減対象者の認定を行う。サービス利用料の軽減を行った社会福祉法人へ軽減額の一部を補助し、その補助額の4分の3を県に補助請求する。				

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成28年度事業計画	平成28年度事業量実績
01	社会福祉法人利用者負担軽減制度事業補助金	生活保護受給者及び市町村民税非課税世帯のうち要件を満たす要介護認定者、岩手県及び北上市に申出している社会福祉法人	3法人 対象者数60人	③4法人 対象者42人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	1,254	1,053	883	888	
人件費	840	844	1,340	1,276	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,094	1,897	2,223	2,164	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	対象者数	62人	57人	41人	42人	博愛会、立正会、和江会、清智会が軽減を実施している。

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

02	社会福祉法人への補助額	1,254千円	1,053千円	880千円	887千円	訪問介護、通所介護、介護福祉施設サービス、介護予防サービスが対象
----	-------------	---------	---------	-------	-------	----------------------------------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

低所得者への介護福祉施設サービスの負担軽減が行われている。市内5法人のうち、4法人が本事業を実施し、補助金の対象法人は2法人。

問題点・課題等

法人が負担軽減を行っているが、対象者数が少ないために補助金の該当とならない法人がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

国庫補助事業のため、実施する社会福祉法人があれば事業を継続して行う。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了